

第10回定例記者懇談会 次第

日時：令和6年1月31日（水）午前10時～

場所：岩滝保健センター 2階 会議室

1 開 会

2 町長からの報告

- (1) 【世界首長誓約／日本】
令和5年度気候変動アクション環境大臣表彰の受賞について (資料1)

- (2) 【よさのみらい大学・地域づくり学部】
「与謝野まちづくり交流会」の開催について (資料2)

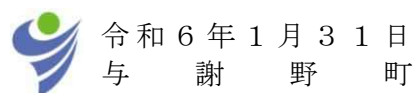
- (3) 【よさのみらい大学・リベラルアーツコース】
「現代アートを読み解く」の開催について (資料3)

- (4) その他情報提供

3 閉 会

Press Release

報道各社 御中



【世界首長誓約／日本】 令和 5 年度気候変動アクション環境大臣表彰 (先進導入・積極実践部門) を受賞しました

与謝野町では、2018年8月に「世界首長誓約／日本」(事務局：名古屋大学)の誓約書に署名し、気候変動に対処するため、「持続可能なエネルギーの推進」「温室効果ガス排出量の国の目標以上の削減」「気候変動の影響への適応」の3つの誓約の達成に向けた取り組みを推進しています。

今回、「世界首長誓約／日本」誓約自治体や事務局の地道な取り組みが評価され、「令和5年度気候変動アクション環境大臣表彰」を受賞しましたのでお知らせします。

1. 受賞名

令和5年度気候変動アクション環境大臣表彰 先進導入・積極実践部門

2. 受賞団体

与謝野町を含む47誓約自治体(令和5年12月4日時点)と「世界首長誓約／日本」事務局(共同受賞)

3. 受賞理由(抜粋)

日本で気候変動問題を解決するには、一律同じことをするわけではなく、それぞれの地域特性に合ったやり方があると考えられる。地方自治体をターゲットにして首長が誓約をし、そして地域主役で国を動かして脱炭素社会を作っていくことは日本の特性にも非常にあっており、さらに波及効果が大きいと感じられる。

また、この誓約が一時的なものではなく、2年ごとの報告や、サポート体制も整っているということも評価の対象となっている。

4. 表彰式

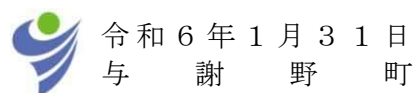
令和5年12月4日、東京都内で気候変動アクション大賞の表彰式が開催され、「世界首長誓約／日本」事務局の杉山事務局長(名古屋大学 特任准教授)が代表し、環境副大臣から賞状を授与されました。今回の受賞は、47誓約自治体と「世界首長誓約／日本」事務局との共同受賞となりました。

5. 今後の取り組み

与謝野町地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)に基づき、「2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロ」の実現に向け、再生可能エネルギーの利活用や地産地消の取り組みなど気候変動対策に向けた各種施策を積極的に進めていきます。

Press Release

報道各社 御中



| 47 誓約自治体（令和5年12月4日時点）

宇佐市、大木町、大津市、大府市、岡崎市、岡山市、小布施町、加賀市、加西市、鎌倉市、神河町、上士幌町、亀岡市、木更津市、北九州市、肝付町、京都市、串間市、郡上市、五島市、坂出市、佐渡市、鹿追町、志布志市、鈴鹿市、高山村、津島市、東京都、所沢市、富谷市、富山市、豊田市、豊中市、豊橋市、中間市、南牧村、新潟市、ニセコ町、東浦町、広島市、松本市、三島市、みよし市、山口市、余市町、横浜市、与謝野町

| 気候変動アクション環境大臣表彰とは

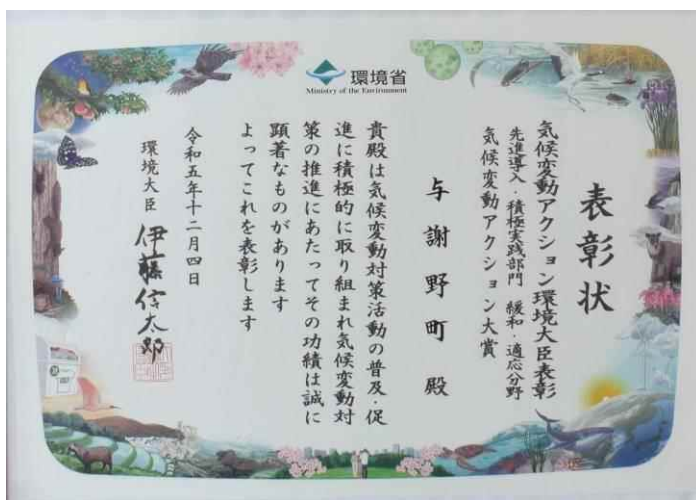
「気候変動の緩和（温室効果ガスの排出抑制対策）」及び「気候変動への適応（気候変動の影響による被害の回避・軽減対策）」に関し顕著な功績のあった個人又は団体（自治体、企業、NPO/NGO、学校等。共同実施も含む。以下同じ。）に対し、その功績をたたえるため、環境省が表彰を行う取り組み。

| 「世界気候エネルギー首長誓約」（Covenant of Mayors for Climate and Energy）とは

持続可能なエネルギーの推進、温室効果ガスの大幅削減、気候変動の影響への適応に取り組み、持続可能でレジリエント（強靱）な地域づくりを目指し、同時に、パリ協定の目標の達成に地域から貢献しようとする自治体の首長が、その旨を誓約し、そのための行動計画を策定した上で、具体的な取り組みを積極的に進めていく国際的な仕組みです。

名古屋大学が事務局となり、2017年に欧州委員会（EC）からの受託事業として、その地域首長誓約である「世界首長誓約／日本」を立ち上げ、現在も東海国立大学機構の受託事業として活動を展開しています。

2023年12月4日現在、世界で12,700、国内で47の自治体が誓約しており、与謝野町は2018年8月に世界首長誓約に署名しています。



問い合わせ先

農林環境課 地球温暖化対策室
担当：糸井
電話：0772-43-9023

「世界首長誓約/日本」～世界気候エネルギー首長誓約の国内普及～

「世界首長誓約/日本」事務局と誓約自治体

大津市 ニセコ町 五島市 豊中市 南牧村 三島市 与謝野町 豊田市 岡崎市 豊橋市 加賀市 加西市 東京都 横浜市 富山市 広島市 北九州市
京都市 所沢市 高山村 木更津市 松本市 中間市 岡崎市 小布施町 鎌倉市 大木町 宇佐市 新潟市 上士幌町 山県市 神河町 富谷市 大府市
肝付町 鈴鹿市 余市町 佐渡市 串間市 志布志市 亀岡市 坂出市 みよし市 津島市 東浦町 郡上市 鹿追町 (順不同)

【住所】〒464-8601 名古屋市千種区不老町D2-1(510) 名古屋大学大学院環境学研究所附属持続的共発展教育研究センター内
【TEL】052-747-6547 【URL】https://covenantofmayors-japan.jp/

活動概要

緩和・適応分野

取組の概要

「世界気候エネルギー首長誓約」は気候変動対策に取組む自治体の国際同盟(世界事務局:ブリュッセル)。首長のリーダーシップの下、持続可能なエネルギーの推進、国の温室効果ガス削減目標以上の削減やレジリエントな地域づくりを目指す仕組み。「世界首長誓約/日本」事務局は欧州委員会の公募事業に採択された名古屋大学が2018年に設置。2023年11月現在、47自治体が誓約し、取り組んでいる。

気候変動対策としての貢献度

「世界首長誓約/日本」は、首長が、持続可能なエネルギーの推進、国の温室効果ガス削減目標以上の削減、レジリエントな地域づくり、に取り組むことを誓約。誓約自治体は、インベントリ作成、気候変動のリスク・脆弱性評価、目標設定、行動計画策定を行い、実施し、2年ごとに進捗状況を報告。事務局は、インベントリデータやシナリオ分析ツールの提供、計画策定のアドバイス、エネルギー事業の専門家派遣を行い、また、報告された計画やその進捗状況を評価する。これらを通じて、地域の気候変動政策がスパイラルアップする。

期待される波及効果

日本には、すでに1,000近く「2050年ゼロカーボン表明自治体」があるが、そのほとんどは表明にとどまっているため、実効ある取組みに向け、「世界首長誓約/日本」への参加が期待される。世界首長誓約は、首長のリーダーシップにより、インベントリ作成、気候変動のリスク・脆弱性評価、目標設定、気候エネルギー行動計画策定を行い、2年ごとの報告、事務局による評価がある。また、世界首長誓約のネットワークを通じ情報共有できる。

刷新的要素

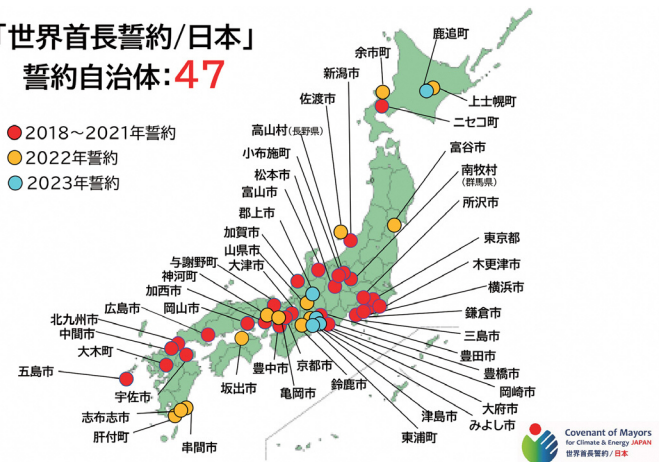
「世界気候エネルギー首長誓約」は、EU、日本以外にも、北米、南米、南アジア、東南アジア、中国、韓国などでも進められているが、名古屋大学が事務局を担っている「世界首長誓約/日本」では、研究プロジェクトで開発したインベントリデータ・将来シナリオ分析ツールの提供、専門家派遣によるフィージビリティスタディなどを行っており、自治体もこれに応じて、着実な成果を上げている。この日本の「刷新的」取組みは世界事務局からも高く評価されている。

今後の計画、持続的な展開の展望

今後の展開は、誓約自治体の量的拡大と、自治体の取組みの質的充実である。前者は、とりわけ「2050年ゼロカーボン表明自治体」への普及である。後者は、世界事務局による「バッジシステム」の取得拡大である。取組みの段階に応じて、緩和バッジ、適応バッジ、コンプライアントバッジが交付される。現在、21自治体がコンプライアントバッジを取得している。これを充実させていく。

「世界首長誓約/日本」 誓約自治体:47

- 2018～2021年誓約
- 2022年誓約
- 2023年誓約




「世界首長誓約/日本」の47誓約自治体(2023年11月)



「若者と誓約自治体首長による対話」参加者
(2023年6月7日 駐日欧州連合代表部)

報道各社 御中

 令和 6 年 1 月 3 1 日
与 謝 野 町



地域づくり学部「与謝野まちづくり交流会」を開催します

与謝野町では、平成 29 年度から町をキャンパスに「新しいモノやコトの発見」「出会いと交流」を通じて、「自分・地域・まち」の未来を描き、主体的に行動する人財を育成する学び舎として、「よさのみらい大学」を設置しています。

つきましては、以下のとおり講座・交流会を開催しますのでお知らせします。

- 1. 日時** 令和 6 年 2 月 17 日（土）午後 2 時～
- 2. 会場** 与謝野町立生涯学習センター知遊館
（与謝野町字岩滝 2 2 7 1 番地）
- 3. 講座** 地域づくり学部 講座
「知ってみよう！つながってみよう！与謝野まちづくり交流会」
多様な主体による協働のまちづくりの推進に向けて、NPO 法人や任意団体と地域が連携した取り組みへの理解を深めることを目的とした講座を開催します。
- 4. 受講料** 無料
- 5. 申し込み・問い合わせ先** つながる丹後（企画・運営）
TEL : 090-5159-5952
MAIL : tango.psc@gmail.com
- 6. その他** よさのみらい大学では、リベラルアーツコース、地域づくり学部、ビジネス学部の 3 コースを設置し、それぞれに特色のある講座を開講しています。他講座については、よさのみらい大学ホームページにて公開しています。

問い合わせ先

企画財政課 地域協働係
担当：吉本
電話：0772-43-9015

×

知って
みよう! /

つながって
みよう! /

こんなこと
してる団体
あったんだ

与謝野

まちづくり

交流会

2月17日(土)

時間 14:00～[開場13:30]

会場 生涯学習センター 知遊館

地域をうまく
機能させる
には?

多様な主体による協働のまちづくりの推進に向けてNPO法人や任意団体と地域が連携した取り組みへの理解を深めることを目的とした講座です。講座に参加して他団体を知り、支え合える関係をつくりませんか?

知る

講演 協働したまちづくり

講師 NPO法人テダス 高橋 博樹



NPO法人テダス 代表理事

高橋 博樹 たかはし ひろき

1971年大阪市生まれ。神戸大学建築学科卒、同大学院修了。民間会社に勤務後手仕事に関わりたとの思いから脱サラして京都伝統工芸大学校に入学。2006年卒業と同時に木工家として活動を始める。2012年NPOのよろず相談所「NPO法人テダス」を設立し、地域活動支援を開始。南丹市まちづくりデザインセンターの運営、NPOゲーム制作、集落の教科書づくりなどの事業を展開。まちづくりとは、「若者が活躍でき、子どもたちが幸せを感じる地域にするためのグラウンド整備」。2児の父。

つながる

ワークショップ 交流タイム

対象者

- ・地域で活動する団体、NPO法人、任意団体、自治会など
- ・地域の団体に興味がありつながりたい方
- ・まちづくりに関心のある方や地域のために何か始めたい方

申し込み・問い合わせ

つながる丹後 [企画・運営]
(丹後NPOパートナーシップセンター)

☎ 090-5159-5952

✉ tango.psc@gmail.com

申し込み締切

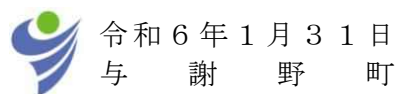
2024年
2月10日(土)

 よさの未来大学
YOSANO MIRAI UNIVERSITY
地域づくり学部

主催 与謝野町役場 企画財政課

☎ 0772-43-9015

✉ kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp



リベラルアーツコース「現代アートを読み解く」を開催します

与謝野町では、平成29年度から町をキャンパスに「新しいモノやコトの発見」「出会いと交流」を通じて、「自分・地域・まち」の未来を描き、主体的に行動する人財を育成する学び舎として、「よさのみらい大学」を設置しています。

つきましては、以下のとおり令和5年度リベラルアーツコースの第3回目となる講座を開催しますのでお知らせします。

- 1. 日時** 令和6年2月17日（土）午後2時～
- 2. 会場** 与謝野町立岩滝保健センター 2階 会議室
（与謝野町字岩滝2046番地）
- 3. 講座** リベラルアーツコース 講座
『現代アートを読み解く』
「芸術」とは何か？更に難解で敬遠しがちな人も多いと思われる「現代アート」とは？
最も学びたくてもなかなか学ぶ機会のないこのテーマを、現代アートを題材に、多岐にわたり活躍中のアーティスト井上大輔氏より読み解き学ぶ講座です。
- 4. 講師** 京都芸術大学/嵯峨美術大学 非常勤講師
井上 大輔（いのうえ だいすけ）氏
- 5. 受講料** 無料
- 6. 申し込み・問い合わせ先** 一般社団法人 プレイス（業務受託業者）
メール：info@place-design.jp
- 7. その他** よさのみらい大学では、リベラルアーツコース、地域づくり学部、ビジネス学部の3コースを設置し、それぞれに特色のある講座を開講しています。他講座については、よさのみらい大学ホームページにて公開しています。

問い合わせ先

社会教育課 社会教育係
担当：谷原
電話：0772-43-9026

講 受
料 無

リベラルアーツコース
講 座

「現代アートを読み解く」

2月 17日

(土曜日)

14:00-15:30

(受付 13:30 ~)

場所：岩滝保健センター
2階会議室

与謝野町岩滝 2046 番地

現代美術家・博士（芸術）
京都芸術大学 / 嵯峨美術大学 非常勤講師

井上 大輔 氏

当日参加も可能です

PROFILE

1980年 熊本県生まれ。

2009年 金沢美術工芸大学大学院博士後期課程修了、博士号（芸術）取得。在学中からアーティスト活動を開始。また、自らの作品制作と並行して、多方面のアーティストや評論家を招いて多くの展覧会やプロジェクトのディレクション、オーガナイズを行う。2014年より共同アトリエである「淀スタジオ」主宰。

現代アート作品を制作する中で培ったプログラミング知識や、分野を横断した経験を活かし、ベンチャー企業のCTOやCEOを歴任。さらに、中小企業から大手上場企業まで様々な業種でアドバイザーや顧問を務める。

現在、京都芸術大学（旧：京都造形芸術大学）および嵯峨美術大学非常勤講師、

(株)TRICERA プロダクトディレクター、(株)バンダイナムコエンターテインメント顧問、等の役職に携わる。

メール

申し込み
問い合わせ

info@place-design.jp

24時間受付

よさのみらい大学は、与謝野町より事業委託を受けた一般社団法人プレイス  が運営しています。